

秋田県乳幼児身体発育・昭和55年調査に伴う発達、環境調査のまとめ

秋田県衛生科学研究所母子衛生科
秋田県福祉保健部公衆衛生課

I はじめに

秋田県乳幼児身体発育調査(昭和55年)に際し、全国調査の一般調査票に対応して調査票を作成したが、その中から、発達および環境についてのべる。

この種の調査は、本県としては、身体発育調査と同様にはじめての試みであり、全国調査結果¹⁾も、運動機能および栄養法の一部が公表されている段階であるので、今回は集計成績の記載にとどめる。

なお、さきの発育値(平均値)集計児数は7,060名(延13,402名)であるが、発達、環境についての有効数は5,910名で、その年月令別、性別は表1.に示すとおりである。

II 成 績

A. 現症、既往症

計測に支障ある状態を持つ者は、有効数5,766名の内22名(0.4%)で、乳児、3歳児にみられる。その支障の内容は、先天性股関節脱臼、斜頸、心臓疾患、脳性麻痺、水頭等、先天異常がほとんどである。

発育・発達に影響を及ぼしていると思われる疾病、異常は、5,701名に対して249名(4.4%)で、表2.の如く、奇型、慢性疾患のほかその他の群として、奇型以外のいわゆる先天異常、皮膚疾患、栄養に問題あり、感染症、消化器、その他の一般疾患が含まれている。

B. 行動発達

全国調査では、1歳7か月未満児に対して6項目の運動機能について(首すわり、ねがえり、ひとりすわり、はいはい、つかまり立ち、ひとりあるき)、調査時点の検査確認を指定しているが、秋田県調査は、乳幼児健診に併用のアンケート用紙(3～8か月用、9～12か月用、1歳6か月用、3歳用)の中から、行動発達に関連する項目をとり入れている。図1.に2歳未満、図2.に3歳児について、各年月令有効数に対する「できない」、「わからない」の比率を示しているが、調査数もばらつきが多く、従断の見方でないので問題はあつたものの、この種の調査の県内資料として参考までに示した。

C. 栄 養

1. 乳汁栄養法について

図3.は調査数3,210名の調査時点の各年月令までの、月令別栄養法の記入を合計し、各月令の栄養法の比率を求め示したものである。母乳栄養は、0～1か月未満で39.8%、1～2か月39.1%(全国45.7%)、2～3か月33.7%(40.2%)、3～4か月30.9%(34.6%)である。

2. 離乳開始と完了

表3.は調査時点の各年月令までの離乳開始と完了時期(月令)を質問し、調査数に対する比率を示したものである。調査対象は質問に対する記入の最低月令以後としたので、(離乳開始では2か月、完了では7か月)開始群で4,025名、完了群2,553名となった。

離乳を開始しているものは、生後3か月代で6.6%(全国7.5%)、4か月代で30.5%(47.1%)で、5か月を過ぎても離乳が開始されていないものは35.4%(5～6月開始前13.8%)である。

また、9か月代で離乳完了が2.6%(全国10.8%)、10か月代で8.2%(20.7%)、11か月代14.0%(43.3%)、12か月代で58.9%(76.7%)であり、1歳6か月をすぎても完了していないものが6.1%(5.5%)にみられる。

D. 妊娠・出産について

対象児の母親の妊娠出産について主な事項を表4.に示した。

出生順位は、第1子および2子で85%を占めており、早産(37週未満)2.4%、過期産(42週以上)5.1%である。

妊娠中に異常ありが25.2%で、貧血、妊娠中毒症、その他では切迫流産等が主なものである。

93.9%の母親が病院又は診療所においての出産であり、母子健康センター(県内9か所)で4.9%、助産所0.5%、自宅0.7%となっている。

出産時異常ありが11.7%で、骨盤位、仮死のほか、その他の群として、帝王切開、吸引分娩、前期・早期はくり、臍帯でんらく、微弱陣痛等が主なものである。

E. 家庭環境

表 5.に示す如く、日中の保育者は、母親 58.9%，祖母 34.0%，保育所・幼稚園等 6.7%であるが、これを年令別にみると、乳児期は母親が主で（最高は新生児期74.5%）、4～5歳は主に保育所・幼稚園（5歳で90.7%）、中間の2歳前後は祖母（2歳6か月で44.3%）のかかわりが多い。

92.2%が一戸建の住居で、騒音や日照等も良好又は普通が90%以上であるが、騒がしいが9.0%，日当りが悪いが4.8%となっている。（57.8.1 伊藤玲子）

文 献

- 1) 日本小児保健協会：乳幼児の身体発育値（昭和55年）
小児保健シリーズ，No23（1981）

表 1. 発達・環境調査に用いられた例数（昭55）

年 月 令	男	女	計
出 生 時	22	26	48
0月～1月未満	28	31	1,799
1 ～ 2	90	62	
2 ～ 3	97	93	

3 ～ 4	387	353	1,143
4 ～ 5	197	211	
5 ～ 6	125	125	
6 ～ 7	112	116	
7 ～ 8	69	64	
8 ～ 9	78	91	
9 ～ 10	112	108	
10 ～ 11	91	80	
11 ～ 12	113	109	531
1年0 ～ 6	268	263	
6 ～ 12	389	358	
2年0 ～ 6	24	27	
6 ～ 12	44	39	
3年0 ～ 6	446	414	
6 ～ 12	225	177	
4年0 ～ 6	46	44	
6 ～ 12	23	26	
5年0 ～ 6	27	36	63
6 ～ 12	24	20	
計	3,037	2,873	5,910

表 2. 現症・既往症（昭55）

事 項 年月令	計測に支障ある状態			発育・発達に影響を及ぼしていると思われる疾病・異常								
	有効数	あ り	%	有効数	あ り	%	奇 形	慢 疾	性 患	脳・神経系疾患	1ヶ月以内の疾病	その他
出 生 時	31	0	0	30	0	0						
0～6月未満	1,747	5	0.3	1,730	83	4.8	5	6			8	63
6 ～ 12	1,120	7	0.6	1,097	50	4.6	3	9			9	30
1年0～ 6	520	1	0.2	518	18	3.5	1	1				16
6 ～ 12	728	7	1.0	722	43	6.0	4	5			3	31
2年0～ 6	48	0	0	48	0	0						
6 ～ 12	81	0	0	80	3	3.8		1		2		9
3年0～ 6	847	1	0.1	833	16	1.9	4	1		1		21
6 ～ 12	398	1	0.3	397	27	6.8	2	3			1	
4年0～ 6	90	0	0.	90	5	5.6						3
6 ～ 12	49	0	0.	49	2	4.1	1	1				1
5年0～ 6	63	0	0.	63	1	1.6						1
6 ～ 12	44	0	0.	44	1	2.3						
計	5,766	22	0.4	5,701	249	4.4	20	27		3	21	175

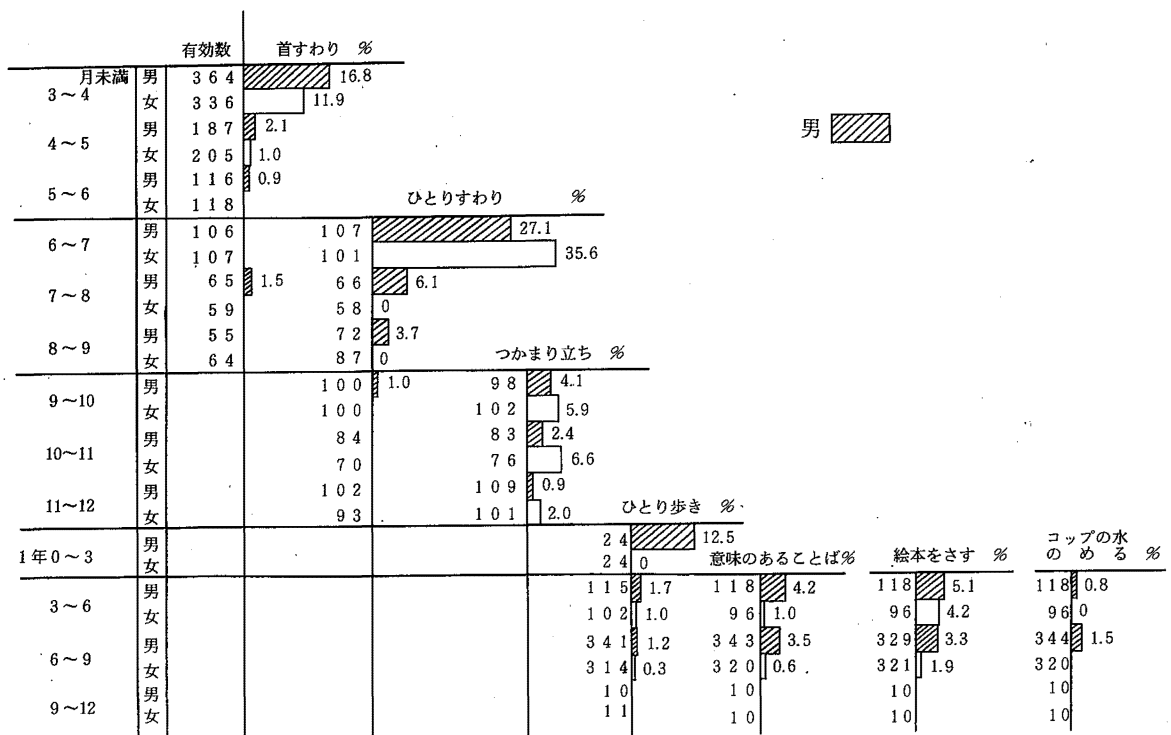


図1. 行動発達（2歳未満児）問題あり・わからないの比率（昭55アンケート）

表3. 離乳の開始と完了（昭55）

離乳開始				離乳完了			
調査数		4,025名		調査数		2,553名	
開始月	例数	%	累積%	完了月	例数	%	累積%
2	31	0.8	0.8	7	5	0.2	0.2
3	235	5.8	6.6	8	22	0.9	1.1
4	962	23.9	30.5	9	39	1.5	2.6
5	1,372	34.1	64.6	10	142	5.6	8.2
6	914	22.7	87.3	11	148	5.8	14.0
7	286	7.1	94.4	12	1,146	44.9	58.9
8	91	2.3	96.7	13	150	5.9	64.8
9	37	0.9	97.6	14	228	8.9	73.7
10	23	0.6	98.2	15	192	7.5	81.2
11	3	0.1	98.3	16	85	3.3	84.5
12以後	10	0.2	98.5	17	37	1.4	85.9
不名	61	1.5	100.0	18	204	8.0	93.9
				19	16	0.6	94.5
				20	23	0.9	95.4
				21以後	60	2.4	97.8
				不明	56	2.2	100.0

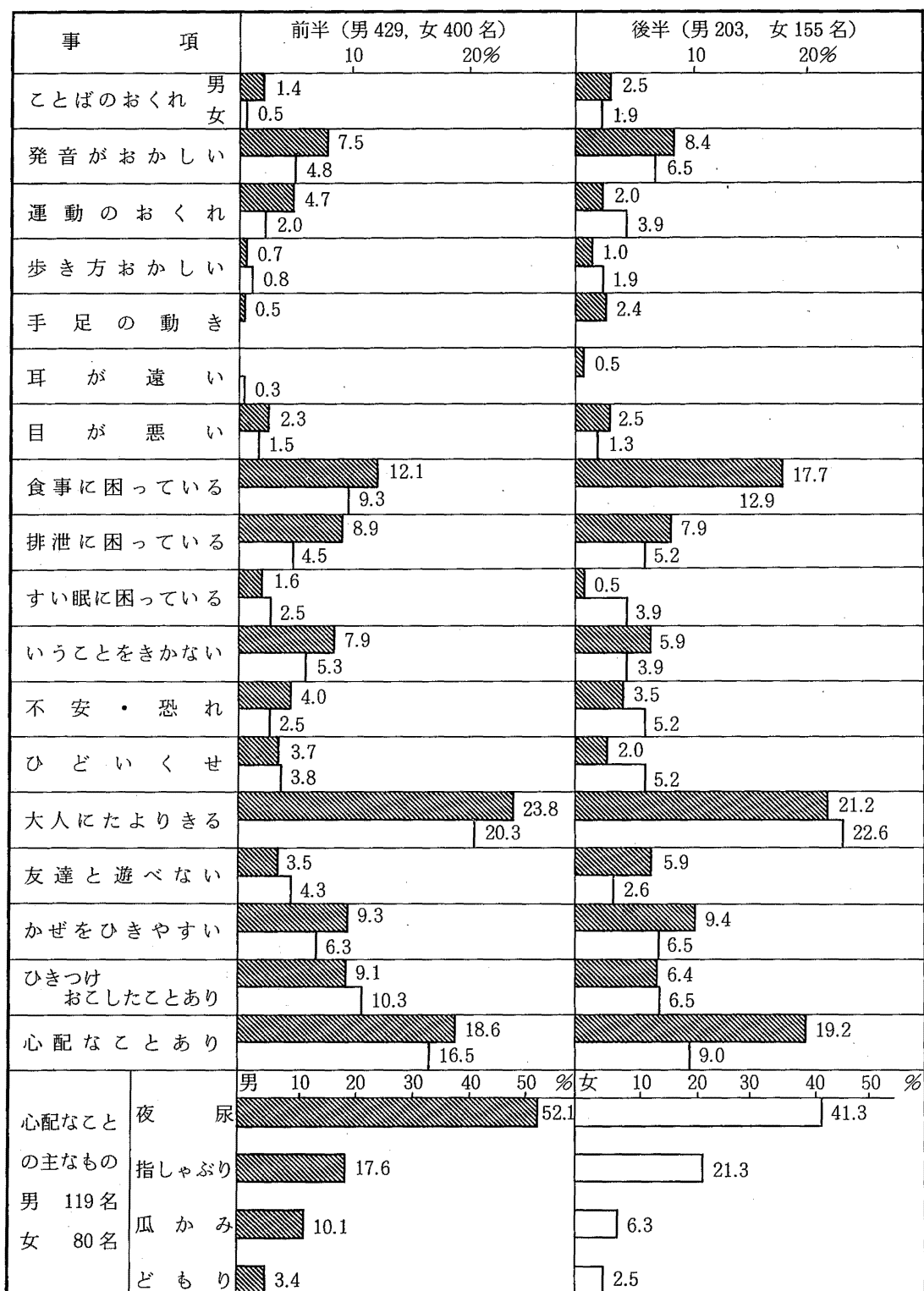


図2. 行動発達(3歳児)問題あり・わからないの比率(昭55アンケート)

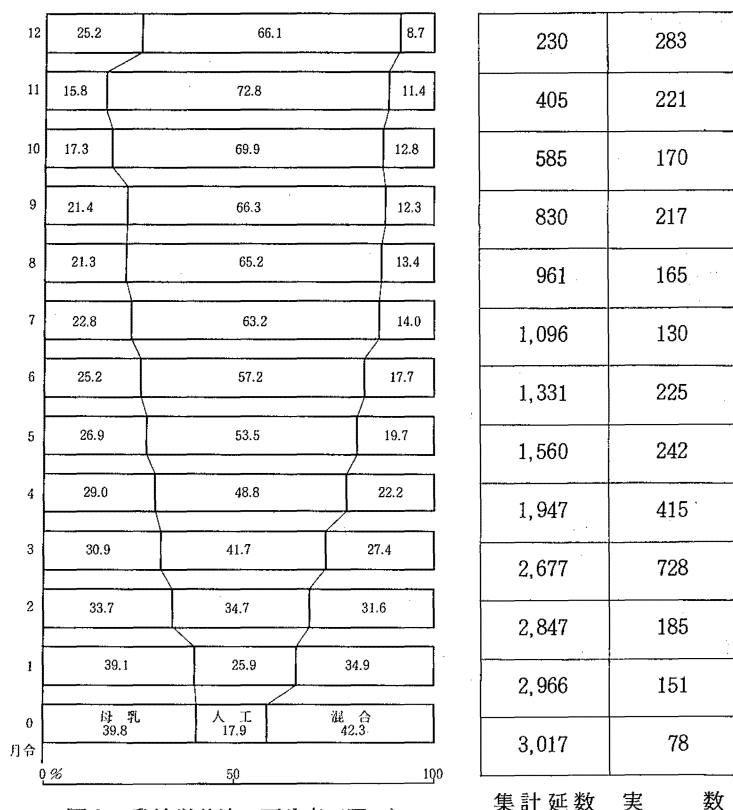


図3. 乳汁栄養法の百分率(昭55)

集計延数 実数

表4. 妊娠・出産

出生順位 調査数	1子	2子	3子	4子	
5,888名	2,642 (44.9)	2,442 (41.5)	740 (12.6)	64 (1.1)	
妊娠期間	37週未満	37～41	42～		
5,764	137 (2.4)	5,332 (92.5)	295 (5.1)		
妊娠中の異常	異常あり	妊娠中毒症	糖尿病	貧血	その他
5,664	1,426 (25.2)	287※ (20.1)▲	20※ (1.4)▲	755※ (52.9)▲	425※ (29.8)▲
出産場所	病院	診療所	助産所	母子健康センター	自宅
5,664	3,900 (68.9)	1,415 (25.0)	31 (0.5)	276 (4.9)	40 (0.7)
出産時所見	異常あり	仮死	骨盤位		
5,388	630 (11.7)	63 (1.2)	134 (2.5)		

() % ※ ダブルチェック ▲ 異常あり対%

表一 5 家庭環境

	専門・管理	事 務	販 売	農 林 漁 業	サ ー ビ ス
保護者の職業 (ダブルチェック) 調 査 数 5,764 名	440 (7.6)	882 (15.3)	551 (9.6)	1,097 (19.0)	280 (4.9)
	運輸・通信	技 能	保 安	採 掘	無 職
	366 (6.3)	1,924 (33.4)	95 (1.6)	50 (0.9)	79 (1.4)
昼の保育者 (ダブルチェック) 5,691	母	祖 母	保育所等	そ の 他	
	3,354 (58.9)	1,935 (34.0)	381 (6.7)	113 (2.0)	
住居の種類 5,792	一 戸 建	マンション アパート	団 地	間 借	そ の 他
	5,342 (92.2)	241 (4.2)	99 (1.7)	36 (0.6)	75 (1.3)
騒 音 5,798	静 か	騒 し い	普 通		
	3,567 (61.5)	519 (9.0)	1,712 (29.5)		
日 照 5,749	良 い	悪 い	普 通		
	4,086 (71.1)	278 (4.8)	1,385 (24.1)		